

BOLTZ

PROFILE



ボルツ

<http://www.boltz.jp/>

本社(本社工場・NPセンター)
〒666-0024 兵庫県川西市久代1丁目1番24号
TEL 072-759-8121(代) FAX 072-759-1720

岐阜工場
〒501-4106 岐阜県郡上市美並町白山613番地1
TEL 0575-79-2181(代) FAX 0575-79-2185

能勢工場
〒563-0122 大阪府豊能郡能勢町上田尻135番地
TEL 072-737-1881(代) FAX 072-737-1844



より強く、より確かに。

絶えず新しい可能性に向かってチャレンジすること、
それがBOLTZのスタイルです。

自動車・自動二輪車のエンジン・パワートレイン系部品の厳しい品質、
お客様の多様なニーズにきちんと応える、かつ環境保全に万全を尽くす。
そんな飽くなきものづくりへの情熱は、エンジンボルトにとどまらず、
エンジン周囲のオイル・水パイプ、機能部品、ミッション、シャシー部品など、
クルマの隅々にまで向けられています。

BOLTZが目指すのは、製品を通じた「お客様との信頼の絆」です。

BOLTZ Technology

※ 社名の「BOLT」+ 究極を意味する「Z」には「最高の製品でモータリゼーションの進化に貢献し続ける」という、熱い意思が込められています。

卓越した技能と独自の冷間精密圧造技術を
融合させた、当社のエンジンボルト、シャフト系
ギア、機能部品、パイプ部品の製造技術です。



お客様の期待を超える製品を。

BOLTZの製品は自動車・自動二輪車および産業機械向けのエンジン・パワートレインを中心とした種々のエンジンボルト、シャフト系ギア、エンジン廻りのパイプ部品です。

自動車を安全・快適に走行させるためには、ひとつひとつの高品質な部品が重要であり、非常に厳しい品質が要求されています。今、自動車の急速な進化に伴い、自動車部品には品質への対応、構造変化の対応、環境問題への対応、など様々なことが求められています。

BOLTZはお客様のニーズや様々な要求仕様に対して、ネットシェイプ工法、熱処理加工、フォームローリング加工、新素材活用等と多様な技術を駆使してお応えします。



ボルツ株式会社

1933年の創業以来、先端技術と熟練技術の融合を心がけ、お客様へよりよい製品をお届けし続けています。当社は強度を要求されるエンジン廻りのボルト、ピストンピンやパワートレイン系のシャフト、ギア製造に主軸を置き、会社の本質的な基盤である人材の育成に力をいれています。



自動車の「走る・曲がる・止まる」
それを支える多彩なBOLTZの製品群

BOLTZ PRODUCTS

独自の冷間精密圧造技術と豊富な実績で、お客様へ最高の製品をお届けします。

QUALITY〈高品質〉

より精密に、
より機能的に

COST〈低コスト〉

より安く、
よりタイムリーに

EXPERIENCE〈経験〉

より適切に、
より迅速に

ABILITY〈能力〉

より確実に、
より安全に



Engine エンジン



Transmission トランスミッション



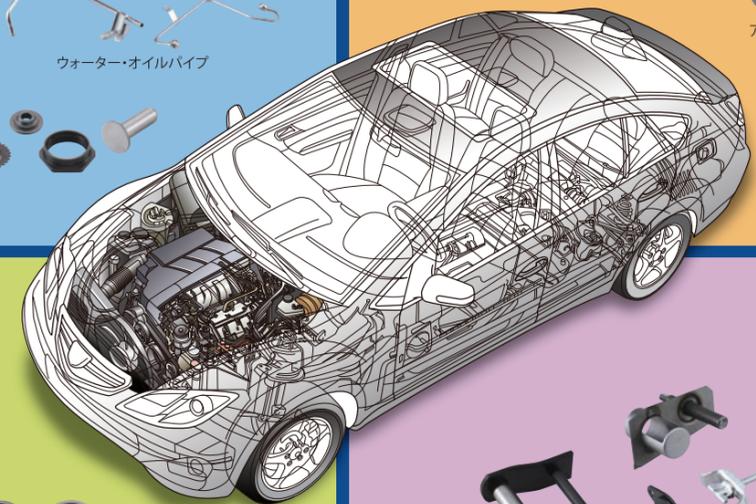
Steering ステアリング



Chassis シャシー



Other その他の冷圧部品



BOLTZだからできる信頼の一貫体制



BOLTZでは、お客様のニーズに対応した冷間圧造・機械加工・熱処理・めっき仕上げに至る一貫した生産体制を整えています。

多岐に渡る複雑な形状加工に対応する為、「フォーマー」と呼ばれる横型多段式圧造設備を備え、長年磨いてきた独自の冷間精密圧造技術を駆使することにより、品質・納期・価格の全てにおいて、お客様にとって最適なサプライヤーを目指します。

すべては「お客様の満足」につなげるためです。

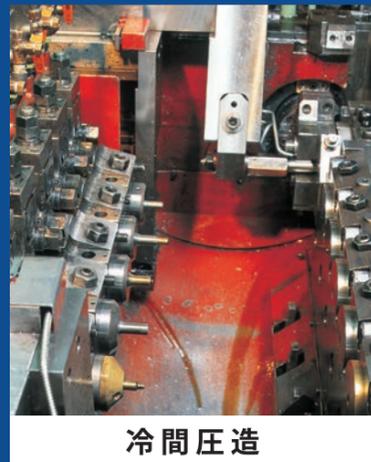


設計から出荷までの多彩なニーズに一貫体制でお応えします。



材 料

ボルトの強度を確保する為鋼材質と塑性加工性を考慮し選定します。



冷間圧造

材料を切断し、塑性加工で頭部と軸部を成形しボルトの素形材の形をつくります。



ねじ転造

ねじダイスという工具を使用し塑性加工でねじ山形状を成形します。



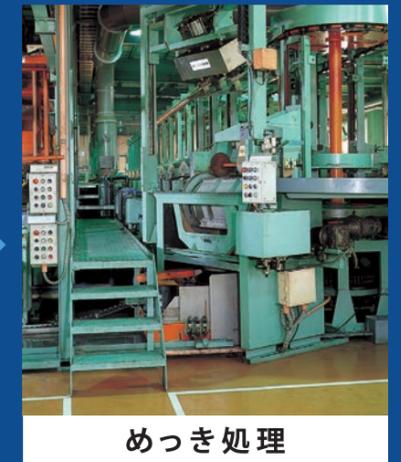
切削加工

切削工程では精密部品としての信頼度を高めます。



熱処理

焼入れ焼戻しを行ないボルトの硬さを調整することで強度を保証します。



めっき処理

電気亜鉛めっきとクロメート処理を行ない耐腐食性能を確保します

設計、製造、生産管理、評価の全てにおいて最高の技術と技能で製品をお届けします。

私達は、自分たちが生産している部品が自動車・自動二輪車にとってどれだけ重要な部品なのかを自覚し、さらに、その重要部品の生産を我々が担っているという誇りと責任を持って取り組んでいます。



私達は情熱を持って、飽くなきものづくりにチャレンジし続けます。

絶えず新しい可能性に向かってチャレンジすること。それがBOLTZの精神です。
 創業より受け継がれる「人と社会を繋ぐものづくり」の精神を信条に、自分たちが生産している部品が自動車・自動二輪車にとってどれだけ重要な部品なのかを自覚し、誇りと責任を持って取り組んでいます。
 私達は創業より培った独自の冷間精密圧造技術に日々の創意工夫を積み重ね、全てのお客様に喜んでいただける最高の製品のお届けにチャレンジし続けます。

意識を変え、行動を変える



上司や経験豊富な人が言っていることや、昔からやっている事に囚われて、思い込みや決めつけをしない事が大切です。問題要因を考える際には、まず自分の仕事の責任範囲に要因が無いかを考え、簡単に他に目を向けないように意識しています。

また、仕事の後に振り返ってみて、「お客様の満足につながっているか」、「会社の成長につながったか」、そして「自分の成長につながったか」と客観的に評価し、今後の仕事に活かすようにしています。

目標をやりきる意識を しっかり持つ



目標を定める前に「この目標は必ず達成できる」という意識をしっかりと持つことが大事だと思います。それには他人事ではなく、自分事として「責任」を負い、改善を通じて「自分自身の能力を伸ばす」為にも、高い目標に挑戦することが大切です。それと目標達成を阻む一番の障害は、「気持ちの緩み」です。困難な問題が発生しても、諦めず仲間と問題を共有し、全員の知恵と工夫で取り組んで乗り越えることが重要です。

問題に対して踏みとどまる事が出来てこそ、期待以上の成果があげられるものです。

現地・現物の徹底が 大事です



品質管理だけでなく生産管理においても、実際の製品を直接確認する現地・現物は大変重要です。コンピューターの画面が教えてくれる情報に基づいた分析と管理だけでは十分な生産管理はできません。私達は、製品の納期遅れを徹底的に防ぐため、各製品の生産進捗状況を見る化し、昼休憩後の15分間、関係者全員と情報を共有化すると共に問題点を洗い出す時間を設けています。

この活動を始めてから、問題の対策実施が目に見えて早くなり、納期遅れ防止に大きな効果がありました。さらには、生産現場と密に接することで、計画変更に伴う生産コントロールや迅速な調整に対応しやすくなりました。

全員参加で目標必達



目標を達成するために何をすべきかを考え、課題を明らかにすることが大切です。課題がはっきりしていれば、どう動けばよいかというイメージがわきます。モチベーションも高まります。そして、実際に動きやすいものです。

もっとも効果があると思われる課題を選び、検討段階からメンバー全員を巻き込んで、当事者意識を持って一丸となって取り組んでいます。このことで問題解決が迅速になるだけでなく、メンバー間の責任感がより強まり、目標必達へのパワーが生まれています。



代表取締役社長

伊藤 聡

当社は1933年の創業以来、「お客様第一」の経営理念のもと、革新的なものづくりへの挑戦を通じ地域への貢献と従業員の豊かな生活の実現を基本方針としています。これまで自動車、オートバイ、産業機械向けの高い強度と精度を兼ね備えた様々なボルトやピストンピン、油圧配管パイプをお届けし、お客様のニーズにお応えして参りました。

しかし今、お客様はより高い品質で低コストの製品を少量で早く納めることを求めています。これに応えるため、私達は長年培った冷間圧造技術と一貫生産体制を更に磨き上げ、スリムで強靱な体質への変革を進めます。また多品種少量生産が可能なビジネスモデルの構築に全力で取り組んで参ります。

私達はお客様により満足して頂けるものづくりを心掛け、多くの皆様に信頼される企業を目指し一層努力を続けて参ります。



国内・海外事業ネットワーク

BOLTZでは全事業拠点においてISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築しています。
製品の設計・製造・生産管理・評価・サービスにいたる全ての事業活動を通じて、

- ① 廃棄物の低減と省資源
- ② 省エネルギーによる地球温暖化防止
- ③ 環境負荷物質の削減と管理

に自覚と責任を持って行動します。



BOLTZ
TECHNOLOGY

PT.BOLTZ INDONESIA 新工場の稼働開始

ボルツ株式会社の子会社であるPT.BOLTZ INDONESIA(ボルツインドネシア社)は、インドネシア共和国カラワン県に自動車・自動二輪車用ボルト、シャフト、ギア等を、生産する新工場を建設し、2015年1月からエンジンボルト、ピストンピンを生産を開始しました。

このインドネシアにおける自動車・自動二輪車パワートレイン系部品の生産拡大により、アセアン域内での日系自動車・自動二輪車メーカー様の現地調達率の向上に貢献し、アジア生産拠点におけるモータリゼーション拡大に対応しながら一層の製品競争力向上を図っていきます。



ご興味を持っていただきありがとうございます。
ご相談・お問合せなどございましたら、
お気軽にご連絡下さい。